

令和4年3月29日

『産後ケア事業に携わる助産師のために作成した研修プログラムの実施と  
その評価』  
に関する研究へのご協力をお願い

このたびは、研究「産後ケア事業に携わる助産師のために作成した研修プログラムの実施とその評価」の参加募集について、ご連絡をいただきありがとうございます。私は、東邦大学大学院看護学研究科博士後期課程の原田慶子と申します。私は、産後ケア事業に携わる助産師への支援についての研究に取り組んでおります。

現在、「産後ケア事業」は法制化され、全国展開が推進されている状況にあります。産後ケア事業は「分娩施設退院後から一定の期間、病院、診療所、助産所、自治体が設置する場所（保健センター等）又は対象の居宅において、助産師等の看護職が中心となり、母子に対して母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子の愛着形成を促し、母子とその家族が、健やかな育児ができるよう支援することを目的とする」（厚生労働省、2020）とされており、助産師が実践を担う中心的な位置づけとなっています。

そこで、先行研究、産後ケアを専門としている助産師や熟練実践者の助言を基に、「産後ケア事業に携わる助産師のための研修プログラム」を企画いたしました。本研修プログラムは、子育て世代包括支援事業の理念を汲んだ産後ケアが実践できる助産師の育成を目的としております。このことは、さらには産後ケアを受ける女性にとっても「産後ケア」の質の保証につながると考えております。本研究では、研修プログラムを実施、評価することを目的としております。なお、本プログラムは、現在開発途中であり、効果が検証されているものではありません。

つきましては、研究の趣旨をご理解いただき、研究へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。なお、本研究は、東邦大学看護学部倫理審査委員会の承認を得ております。

## 1. 研究内容は以下の通りです。

研究テーマ：産後ケア事業に携わる助産師のために作成した研修プログラムの実施とその評価

研究目的：子育て世代包括支援事業の理念に基づいた産後ケアを提供することができる助産師を育成することを目的に作成したプログラムを実施し評価すること。

研究実施期間：2022年5月14日（土）10時～16時

研究（プログラム）実施場所：東邦大学看護学部（東京都大田区大森西）

研究対象者：産後ケア事業において産後ケアを実践している助産師6～7名。産後ケア事業の事業形態、雇用形態については問わない。また、経験年数も問わない。

方法：

### 1) プログラムの実施（プログラムの概要については次ページにお示しします）

上記日程で、下記をテーマに講義、グループワーク・ディスカッションを実施する。

- ・子育て世代包括支援事業の理念と産後ケア事業の意義について（講義）
- ・子育て世代包括支援事業の理念に基づいた産後ケア事業における産後ケアの実践（講義）
- ・子育て世代包括支援事業の理念に基づいた母子と家族の支援について考える（\*グループワーク・ディスカッション）  
\*グループワーク、ディスカッションは2～3名のグループになっていただきます。グループ分けについてはこちらで行います。自己紹介、自身が行っている産後ケアの共有、グループワークでは、グループで事例のエコマップ、ジエノグラムを作成していただき、最後に発表をしていただきます。

### 2) プログラムの評価のための以下の調査

- ・プログラム開始前の調査票への記入（約20分） \*当日会場にて
- ・プログラム終了後の調査票への記入（約20分） \*当日会場にて
- ・プログラム終了後1か月時点でのインタビュー調査（約60分）  
\*対面 or WEB会議システムにて
- ・プログラムで実施するグループワークの発表などの時に、発言を録音し、その内容からもプログラムの効果を検討する。

プログラムの概要

時間	内容	方法
10:00~10:10	オリエンテーション	
10:10~10:30	事前 質問紙記入	
<b>テーマ：子育て世代包括支援事業の理念と産後ケア事業の意義について</b>		
10:30~11:50 (50分)	① 子育て世代包括支援事業について	講義
	② 子育て世代包括支援事業・産後ケア事業の法的根拠	
	③ 子育て世代包括支援事業における産後ケア事業の位置づけ	
	④ 産後ケア事業ガイドラインの改訂	
11:50~12:40	昼休憩 (50分)	
<b>テーマ：子育て世代包括支援事業の理念に基づいた産後ケア事業における産後ケアの実践</b>		
12:40~13:40 (60分)	① 産後ケアを担う助産師の役割	講義
	② 利用者目線に立った支援	
	③ 愛着・絆形成への支援	
	④ 生活モデルを考慮した母子への支援	
	⑤ 産後ケアにおけるソーシャルキャピタルの醸成	
	⑥ 医療機関・行政・他機関との連携	
13:40~13:50	休憩 (10分)	
<b>テーマ：子育て世代包括支援事業の理念に基づいた母子と家族の支援について考える</b>		
13:50~15:20 (90分)	① 自己紹介・自身が行っている産後ケア（対象者・時間・場所・方法など）の共有	ディスカッション
	② ジェノグラム・エコマップについての基礎知識	講義
	③ 事例の紹介	説明
	④ 事例について、ジェノグラムを作成	グループワーク
	⑤ 自身が産後ケア事業に携わっている自治体の事例が利用できるサービス、市区町村の情報を確認	ディスカッション
	⑥ 事例について、エコマップを作成	
	⑦ 発表	ディスカッション
<b>クロージング</b>		
15:20~15:40	まとめ	
15:40~16:00	事後 質問紙記入	

## 2. 協力していただきたい内容は以下の通りです

- 1) 上記のプログラム（昼食時間含む6時間）へ参加していただくこと
- 2) プログラムの効果の評価のための調査（質問紙）に回答していただくこと
- 3) プログラム実施1か月後のインタビュー調査をお受けいただくこと
- 4) プログラム内で行う参加者同士の話し合い、またプログラム実施1か月後のインタビューに際し、話し合い内容・インタビュー内容をICレコーダーに録音およびメモをすることを了承していただくこと

## 3. 研究に関して以下のことをお約束いたします

- ・ 機構（協会）のホームページにおいて研究協力のご依頼をさせていただきましたが、研究への参加は自由意思によります。参加されなくても何ら機構（協会）より不利益を被ることはありません。
- ・ 研究協力の同意をしても、いつでも同意を撤回することができますので、その場合はお渡しする「同意撤回書」でご連絡ください。同意撤回されましても、何ら機構（協会）より不利益を被ることはありません。ただし、同意の取り消しがあった場合でも、グループワークでの発言や、発表時の発言の音声データの内容は、各参加者の発言がほかの参加者の発言や認識に影響を与えている可能性があるため、削除することは難しいためできかねます。インタビュー調査後の同意の取り消しについては、インタビュー実施後3週間以内であれば削除可能です。
- ・ 調査票の記録物やインタビュー調査時の録音データ、逐語録などは鍵付き保管庫で保存し、厳重に取り扱い、当該研究の終了について報告された日から5年、もしくは当該論文等の発表後5年のいずれか長い期間が経過した後は速やかに破棄いたします。
- ・ 本研究結果は、本大学院および専門学会、専門誌で公表させていただきたいと考えております。その際には、施設名や個人名が特定されないようにいたします。
- ・ データは、研究目的以外で使用することはいたしません。
- ・ 研究に関する質問が生じたときは、いつでも質問できます。また、研究者の連絡先を研究協力者への説明文に明記いたします。

## 4. 本プログラムに参加することによって期待される効果・予想されるリスク

- ・ 本研究に参加することにより、自己を振り返る機会となり、今後、産後ケアを実践するにあたり、より質の高いケアを追求することへつながると考えられます。一方不利益としては、本研究プログラムに参加することによる時間の拘束が生じます。また、ご自宅の場所によっては、移動による時間的拘束が生じること、インタビュー方法についてweb会議システムを選択された場合は通信費がかかってしまうことが考えられます。
- ・ 本プログラムは、対面で実施するため、顔見知りの同業者が参加している場合がございます。またグループワークもございますので、個人情報をや取りすることが考えられます。

そのため、本プログラム実施中に知りえた個人情報は他言しないようお願いいたします。

## 5. 研究参加者への謝礼について

①研修プログラムの参加（5月14日のプログラムの受講と調査票の記入）②インタビュー調査（プログラム実施一か月後）の参加につき、それぞれ3000円分のQUOカードを謝礼としてお渡しいたします。謝礼と交通費は、①については研修プログラム参加当日、全プログラム終了時に、②についてはインタビュー終了時にお渡しいたします。インタビュー調査をWeb会議システムで実施された場合は、インタビュー調査後にご希望の郵送先へ郵送させていただきます。その際、教えていただいた住所は、目的以外では使用しないことを約束し、取り扱いには十分注意をいたします。目的で使用後は、速やかに破棄または削除をいたします。

## 6. 研究の参加にあたり以下をご了承ください

- ・本研究でおこなうプログラムは対面にて実施いたします。そのため、お知り合いの助産師の方が参加されている可能性があります。
- ・本プログラムでは、グループワーク、グループディスカッションがございます。自己紹介については、差し支えない範囲で構いません。グループワーク、グループディスカッション内で知り得た個人情報は他言なさらないようお願いいたします。
- ・本研究では、個人分析をおこなうため、調査票に識別記号を記入させていただき、無記名での調査ではありますが、調査票が参加者のどなたのものであるか研究者にわかるようになっております。回収させていただいた調査票のデータについては、個人名が特定できないよう管理いたします。質問には可能な範囲でお答えください。

この研究に関してご不明な点がございましたら、遠慮なく下記までご連絡ください。  
何卒、研究の趣旨をお汲み取り頂き、ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

東邦大学大学院看護学研究科博士後期課程 原田慶子  
東邦大学大学院看護学研究科 指導教員 福島富士子

<研究者連絡先>研究者：原田 慶子（ハラダ チカコ）

所属：東邦大学大学院看護学研究科博士後期課程

連絡先：住所 東京都大田区大森西 4-16-20 母性看護学研究室

E-mail：[chikako.harada@hs.toho-u.ac.jp](mailto:chikako.harada@hs.toho-u.ac.jp)

<研究者連絡先>研究者指導者：福島 富士子教授

所属：東邦大学大学院看護学研究科

連絡先：住所 東京都大田区大森西 4-16-20 母性看護学研究室